

地域の皆様と川島ロイヤル・ワム・タウンを結ぶ広報誌

ふれ愛

NO.
133
2025.12月号

<https://www.loyal-wam-town.jp/>

「平成の森公園秋景色」

Contents

曜日対抗・大運動会

介護老人保健施設 平成の森

長寿のお祝い

介護老人保健施設 平成の森

川島中央文化展

平成の森・川島病院

敬寿会が開催されました

介護老人保健施設 平成の森

冬の園芸

平成の森・川島病院

行事食～『松花堂弁当』の日

平成の森・川島病院

初めて歯学生の実習を受け入れて

平成の森・川島病院



秋といえば、「スポーツの秋」です。そうです運動会の時期がやって来ました。

10月3週目は、13日のスポーツの日を皮切りに「曜日対抗・大運動会」を開催いたしました。曜日対抗運動会とは、同一種目を各曜日にいき、他の曜日と点数を競い合い、種目ごとに順位をつけるという運動会です。つまり月曜日は月曜チームとして各種目に取り組み、他すべての曜日は敵になります。

競う種目は4種目

- ① 投げ競技（ホーガン・エンバン・ヤリ）←新聞で作ったもの
- ② バトンリレー（輪になってバトンを1分間に何回パスできるか）
- ③ 大玉・小玉リレー（これも輪になって1分間に何回パスできるか）
- ④ 玉入れ（1分間）

どなたもスポーツのイベントだけあって、競技になると真剣な表情で、熱く、そして楽しんで参加されていたようです。午後のレクリエーションには普段消極的な方や遠慮がちな方も、笑顔で競技を楽しまれ、また職員も一緒に楽しみながら行えたことから、集団レクリエーションの大切さを改めて実感したイベントになりました。 介護福祉士 吉田 将輝

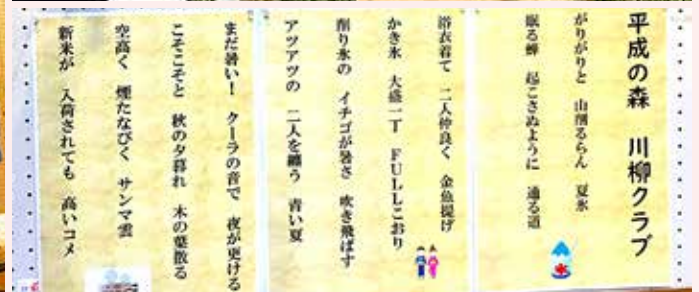
長寿のお祝い



9月に、100歳のお誕生日を迎えられた利用者様のお祝いの会がありました。ご家族も一緒に、顔なじみの2階・3階の利用者様、職員も集まって、にぎやかなお祝いとなりました。会では、司会者から生い立ち紹介があったり、仲の良い利用者さまや職員からお祝いの言葉があったり、制作物や花束のプレゼントがあったり、写真撮影をしたり。本人もご家族もびっくりの盛大なお祝いとなりました。また、10月にも103歳のお誕生日を迎えられた利用者様が、ご家族とささやかにお祝いをされました。ご本人がもともとすきだったモンブランをご家族と一緒に召し

上がっている姿をみて、こちらとても嬉しくなりました。本当に、おめでとうございます。

ちなみに、当施設に100歳以上は3名、99歳も3名いらっしゃいます。(R7.10月) 埼玉県内の100歳以上の人口は、410人だそうです。 老健介護福祉士 岡野 優希



平成の森では、地域交流の一環として川島中央文化展に毎年参加しています。今年は、郷土の民話をもとにした「大型紙芝居」と、「和風ランタン」、「川柳クラブ発表」を出展しました。

大型紙芝居は「八郎」という秋田県の民話(16枚)をちぎり絵で制作しました。今回は表紙から始まる話の序盤、5枚に力強い主人公の様子が描かれている作品になりました。和風ランタンは、ティッシュと押し花で作成し、見た目は和紙の作品のような仕上がりとなっています。

「川柳クラブ」は月1回活動しているクラブで、入所の方々が参加し、主に季節ごとの思い出話を交流する中で句を作っています。文化展は利用者の方々が「平成の森」でどんな活動をしているかを、知っていただく良い機会だと思っています。また、文化展に足を運ばれた利用者のご家族からも、作品作りに関し家庭内で交流ができたなどのお声をいただき、嬉しく思っております。

介護福祉士 高橋 道子

敬寿会が開催されました

介護老人保健施設 平成の森

老健では、毎年恒例となっている「敬寿会」が9月7日に開催されました。95歳以上の利用者さまがお祝いの対象ですが、それがどのくらいかというと、施設入所様のうちおよそ25%です。

職員と大勢の利用者さまも集まって、みんなで盛大にお祝いをしました。写真撮影やお祝いの挨拶をし、感謝状を授与したあとは余興が始まります。今年は高校のダンス部の皆様を招いて、ダンスを披露していただきました。若いエネルギーに皆さまから笑顔がこぼれ、音楽に合わせて手拍子で盛り上がります。終わったあとは拍手喝采でした。高校生に質問をしたり、お祝いの言葉をいただいたり、若者との交流が楽しめるひとときとなりました。皆さまのこれまでの人生に敬意を表し、今後とも暮らしのお手伝いをさせていただきます。

老健介護福祉士 岡野 優希

冬の園芸

平成の森・川島病院



リハビリテーション部では身体機能の回復だけでなく、心のリハビリにもつながる活動として、園芸に取り組んでいます。先日職員と患者さんが協力しながら、パンジーやビオラ、金魚草等の花を植えました。色とりどりの花々がプランターを彩り、窓際が明るい雰囲気になっています。

園芸作業は手指や体幹を使う良い運動になるだけでなく、土に触れることで季節の移ろいを感じ、気分のリフレッシュにもつながります。また花を見ることをきっかけに離床して下さることもあるため、離床時間の拡大にもなっています。患者さんからは「花が咲くのが楽しみ」といった声が聞かれました。

今後もリハビリテーション部では心と身体の両面から回復を支援できる取り組みを続けていきます。



当院の行事食の一つに『松花堂弁当』の日があります。今年も10月に秋の行楽をイメージした松花堂弁当を提供しました。松花堂弁当とは、十字型の仕切りが特徴で、ご飯・煮物・焼き物など食材同士の香が混ざらないように盛り付けられた和のお弁当です。四季折々の食材を彩り豊かに盛り込み、見た目も楽しめる献立にすることで、患者様の入院生活に少しでも季節の温かみを感じていただけるよう工夫しています。管理栄養士や調理スタッフが協力し制限食の方にも配慮しながら、味付けや盛り付けに心を込めて仕上げました。「食べること」は回復の原動力でもあります。これからも、栄養だけでなく“心の満足”にもつながるような食事づくりを目指していきます。

栄養科 黒川 愛

初めて歯学生の実習を受け入れて

10月8日・22日の2日間に明海大学150名の歯科医師の学生さんの実習を受け入れました。「なぜ歯科医師を目指す学生さんが実習に来るのですか?」と思われますが、実習の目的は「福祉と介護」を学ぶ実習です。

高齢者の入院患者さんを受けている当院では、歯に何か問題がある時に歯科受診に行っていたくのはとても困難です。当院は川島デンタルクリニックの訪問歯科診療を行っていただいているので、患者さんは安心して入院生活を送ることができています。

病院はチーム医療です。いろいろな職種の職員が専門性を活かし、患者さんをサポートしています。歯科医師の学生さんも歯科医師となったときには、私たちと一緒にチーム医療で活躍していただけることを期待し、当院での実習が少しでも学生さんの学びにつなげてもらえたら嬉しく思います。

青木 郁子



編集後記

年末といえば、大掃除の時期です

暑いのが過ぎたらすぐに寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。年末といえば、大掃除の時期です。計画して早めに少しずつ進めるのが理想ですがなかなかそうはいかないものです。大掃除は今年の締めくくりというのではなく、来年を迎える準備が本当の目的になります。大掃除をして清めた場所に新しい年の都市神様を迎え入れるのです。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

医事課 木村 清志

川島ロイヤル・ワム・タウン



平成の森・川島病院	電話 049 (297) 2811
ロイヤルケアホーム川島(サービス付き高齢者向け住宅)	電話 049 (299) 0880
訪問看護ステーション 平成の森	電話 049 (297) 8331
介護老人保健施設 平成の森	電話 049 (297) 8808
居宅介護支援事業所 きすな	電話 049 (297) 8797
川島クリニック	電話 049 (297) 8783